

## 船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第227号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年6月25日 09時00分ごろ	
発生場所	三重県石鏡 <sup>いじか</sup> 灯台から真方位341° 2,450m付近 (概位 北緯34° 27.9′ 東経136° 54.9′)	
事故等調査の経過	平成21年9月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	砂利運搬船 第七運 <sup>うんえい</sup> 栄丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	132330、有限会社山二海運	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底擦過傷、き裂、推進器翼曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、石材約1,000トンを積載し、船首約3.5m、船尾約4.5mの喫水で、船長が当直につき、三重県鳥羽市菅島南東方沖を約10ノットの速力で東進中、右舷前方に北進中の数十隻の漁船群を発見した。その後、漁船群に接近したので、機関を停止し、漁船群を避航することに熱中して、菅島南東方約1.5海里の小鯛島の浅瀬に接近していることに気付かず、惰力で航行中、平成21年6月25日09時00分ごろ、船底が浅瀬に接触した。</p> <p>本船は、その後自力で航行を続けた。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.3m、潮汐 下げ潮初期	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、菅島南東方沖を航行中、漁船群を避航する際、船位の確認を適切に行わず、浅瀬に接近していることに気付かなかった可能性があると考えられる。
原因	<p>本事故は、本船が菅島南東方沖を航行中、漁船群を避航する際、船位の確認を適切に行わなかったため、浅瀬に接近していることに気付かず、同浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	